

UNEP IETC 設立30周年記念イベント  
 ワールドクリーンアップデー UNEP IETC & なにわエコ会議共催企画

# ごみを拾って 野鳥と自然を守ろう



**日時：2022年11月6日(日)10時～12時30分**

**場所：大阪南港野鳥園** Osaka Nankou Bird Sanctuary  
 大阪市住之江区南港北3-5-30  
 展望台前に集合



**参加費：無料 定員：20名** (要申込 先着順)  
 どなたでも参加できます。小学生以下の子どもさんは保護者同伴でご参加ください。

南港野鳥園付近には打ち寄せられたプラスチックごみがいっぱい。  
 海を渡ってやってきたごみ、マイクロプラスチックになってしまったもの、マスク、コンビニの袋…  
 これらのごみが、野鳥をはじめとする生き物たちにどのような影響を及ぼしているのか、また、私たちの暮らしの中でなにができるのかなど、いろいろなことを考えてみましょう。

## プログラム

1. 海浜での清掃活動と集めたごみの分析  
 普段立ち入ることができない海浜で、ごみ拾い  
 砂に混ざったマイクロプラスチックや海洋ごみの説明
2. ミニ講義
  - ① 海洋プラスチックごみと野鳥の関係  
 講師：NPO法人南港ウエットランドグループ理事 和田 太一氏
  - ② ごみと環境危機  
 講師：国連環境計画 国際環境技術センター (UNEP IETC) 企画官 本多 俊一氏
  - ③ 大阪ブルー・オーシャン・ビジョンについて  
 講師：大阪市 環境局 環境管理部 環境管理課 (水環境保全グループ) 高木 慶大氏
3. バードウォッチング  
 指導：NPO法人南港ウエットランドグループのみなさん



詳細や申込については裏面をご覧ください

～国連環境計画（UNEP）からのメッセージ～

国連環境計画（UNEP）の国際環境技術センター（IETC）は、今年で設立30周年を迎えます。

IETC設立30周年記念イベントの一つとして、環境に配慮した持続可能な廃棄物管理を推進するために、なにわエコ会議、大阪市などと協働してクリーンアップイベントを開催します。

## 講義の内容

### ①海洋プラスチックごみと野鳥の関係

海洋プラスチックごみが流れ着く過程や、野鳥をはじめとする生き物にどのような影響を及ぼしているのかを知り、私たちに何ができるのか考えます。



### ②ごみと環境危機 “Waste and Environment Crises”

日本では半世紀前の公害問題を克服し、環境管理先進国として国内における環境問題は「すでに解決済み」と思われがちです。例えば、日本のごみの分別や回収・リサイクル、処理・処分は世界でもトップクラスの高度化を達成しています。しかし、世界的に見るとこの日本の取組は「例外」で、多くの途上国ではごみが分別されずにそのまま埋立処分場に捨てられています。ごみ問題を世界的に見ると、気候危機と生物多様性損失危機と並ぶ地球三大危機とも言われています。そのごみ問題の本質は何でしょうか？ごみ問題の本質を理解し、地球三大危機の解決方法を考えたいと思います。

### ③大阪ブルー・オーシャン・ビジョンについて “About Osaka Blue Ocean Vision”

近年、海洋プラスチックごみによる地球規模での環境汚染による生態系、生活環境、漁業、観光などへの悪影響が懸念されており、2019年のG20大阪サミットにおいても「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」がG20首脳宣言において共有されるなど海洋プラスチックごみ問題がクローズアップされています。この世界的な問題の解決に取り組んでいる様々な団体を紹介します。

## お申込みはこちらから

<https://ws.formzu.net/dist/S776742733/>



定員に達した時点で締め切ります。

（締め切りは、なにわエコ会議のHPでお知らせします。）

- ・個人情報は、本セミナーに関する目的以外には使用しません。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じて開催しますが、感染の状況によってはプログラムが変更・中止になる可能性があります。
- ・屋内では原則としてマスクの着用をお願いいたします。
- ・発熱や咳、喉の痛みなど、体調に異変がある場合は参加をご遠慮ください。

## 問合せ

なにわエコ会議事務局

TEL 06-6614-2219

FAX 06-6614-1801

MAIL [info@naniwaekokaigi.org](mailto:info@naniwaekokaigi.org)

